

4車線拡幅に向けた 国への要望活動

こうした現状に加え、この区間が昭和57年5月の都市計画決定により将来的には4車線に拡幅される計画となっていることから、安平町ではこれまで遠浅市街地の道路交通対策を最重要課題として掲げ、その早期実現に向け、拡幅期成会や遠浅自治会、その周辺自治会なども足並みをそろえ、国に対し積極的な要望活動を行ってまいりました。

【遠浅市街地道路交通量調査】 (北海道開発局提供)	交通量 (台/日)	内大型車 (台/日)
平成9年度道路交通センサス	12,053	4,665
平成11年度道路交通センサス	11,786	4,043
平成17年度道路交通センサス	11,282	3,926
平成22年度道路交通センサス	7,084	2,465
平成23年8月開発局独自調査	9,072	2,754
平成23年11月道東道開通後調査	8,686	3,063
平成25年11月開発局独自調査	8,887	3,236

交通事故防止対策の提案

こうした活動によって、平成23年から室蘭開発建設部と地元住民との意見交換会の場が設置されるなど、一定の成果を上げてきたところであります。

これまで開催された3回の意見交換会で、安平町は一貫として4車線拡幅を要望してまいりました。しかし、昨年の第3回目の意見交換会において、室蘭開発建設部は「当該区間の交通量は減少しており現在の車線数で交通の処理は可能であるものの、大型車の占める割合が高く交通事故も多く発生していることから、交通事故の防止に向けた対策を行うことが重要である。」との考えに基づき、次のような交通事故防止対策が提案されました。

- 車道幅や路肩幅の拡幅
- 主要交差点の右折レーンの設置
- 歩行者の乱横断防止対策

方向性の転換

この室蘭開発建設部から提案された交通事故防止の対策は、現行の基準の中で最大限安全に配慮した案として評価できる内容であり、これにより『今後の交通量の増加を期待して従来どおり4車線拡幅を要望していくのか』『まずは交通事故防止の対策として、より安全な道路を整備するのか』という選択肢が生まれたことから、拡幅期成会や遠浅自治会、その周辺自治会と今後の方向性を協議させていただきました。

その結果、将来的な4車線拡幅の希望は持ちながら、まずは一刻も早い交通事故防止の対策を希望するという意見にまとまったことから、これまでの方向性を転換し、去る2月24日、地域自治会長などとともに、提案された交通事故防止の対策の実現に向けた新たな要望書を室蘭開発建設部長へ提出いたしました。

今後について

今後、安平町といたしましては、これまでと同様、遠浅地域住民の皆様とともに、この交通事故防止の対策の早期着工・早期実現に向けた要望を行ってまいります。

